

部局名	安全環境部	所属名	総合防災課	所属長名	知脇 幹雄	電 話	483-1151 内線2291
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード		3056		事務事業名称		災害対策施設整備等事業					短縮コード		経常	3056	臨時	3057				
予算区分		会計	01	一般会計		款	02	総務費			項	01	総務管理費			目	08	災害対策費		
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		災害対策基本法，地震防災対策特別措置法，八千代市防災会議条例，八千代市災害対策本部条例，八千代市防災行政用無線局管理運用規程，八千代市地域防災計画，武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律												
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																				
市民の生命，身体及び財産を災害から保護するため，八千代市地域防災計画に基づき，防災行政用無線・災害用井戸・防災資機材の整備，非常用食糧等の備蓄等を行い，災害に対する総合的な対策を実施する事業です。																				
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 東葉高速鉄道の開通を契機として，住宅建設に拍車がかかり，建築物の中高層化，住宅の過密化が進み都市型災害の危険性もますます増大しています。						総合計画の施策体系	5本の柱（章）		03	安全・環境共生都市をめざして										
							大項目（節）		01	市民の安全										
							中 項 目		01	防災										
							小項目（施策）		01	災害予防体制の充実										
									02	災害応急対策の充実										
							細 項 目		01	地域防災計画の確立										
									01	情報連絡体制の強化										
							実 施 計 画 の 計 画 事 業		3103	防災行政用無線整備事業										
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		平成17年4月 ～ 平成23年3月				計 画 事 業 費		千円							

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	八千代市地域防災計画，防災会議委員，防災行政用無線，防災倉庫，災害用井戸，防災備蓄品，防災関係機関・公共団体・民間事業者，八千代市国民保護計画						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 1. 防災会議の開催，2. 防災行政用無線の維持管理，3. 防災倉庫・災害用井戸・備蓄品の維持管理，4. 災害時協力井戸の確保，5. 防災対策及び災害対応に係る一般事務						
	※平成22年度に計画していること： 1. 防災会議の開催，2. 防災行政用無線の整備及び維持管理，3. 防災倉庫，災害用井戸及び備蓄品の整備及び維持管理，4. 災害時協力井戸の確保，5. 災害時協力協定の締結，6. 防災対策及び災害対応に係る一般事務						
意図 （何を狙っているのか）	地域防災計画を推進する。災害時に迅速かつ正確な情報を伝達できるようにする。 防災施設及び備蓄品の整備等を行い，災害時に機能するようにする。 災害時に防災関係機関・公共団体・民間事業者等の協力を得られるようにする。						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	整備計画目標の防災行政用無線子局数	局	117	117	117	117
	指標 2	整備計画目標の非常用食糧数	食	196,000	196,000	196,000	196,000
	指標 3	整備計画目標の災害用トイレ数	基	245	245	245	245
活動指標	指標 1	当該年度に設置した防災行政用無線子局数	局	1	0	0	1
	指標 2	当該年度に備蓄した非常用食糧数	食	5,150	0	0	2,500
	指標 3	当該年度に備蓄した災害用トイレ数	基	10	0	0	5
成果指標	指標 1	整備目標に対する整備済みの防災行政用無線子局の割合	%	99.1	99.1	99.1	100
	指標 2	整備計画目標に対する備蓄済みの非常用食糧の割合	%	59.2	59.2	58.7	59.2
	指標 3	整備計画目標に対する備蓄済みの災害用トイレの割合	%	71.4	71.4	71.4	73.5
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード		3056	事務事業名称	災害対策施設整備等事業			所属名	総合防災課
			単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	3, 946	
		地方債	千円	0	0	0	11, 200	
		一般財源	千円	26, 000	14, 571	15, 635	19, 076	
		その他	千円	0	0	0	0	
	主な事業費の内訳			防災行政用無線整備及び維持管理 11, 491千円 災害用井戸整備及び維持管理 1, 918千円 備蓄品購入 6, 794千円	消耗品費628千円 委託料 6, 464千円 修繕料4, 358千円	防災行政用無線維持管理 8, 477千円 災害用井戸維持管理 2, 217千円	修繕料 4, 227千円 委託料 5, 394千円 工事請負費 14, 559千円 備品購入費 5, 658千円	
	人件費 (B)			千円	35, 860. 3	34, 509. 5	35, 599. 8	
トータルコスト (A) + (B)			千円		61, 860. 3	49, 080. 5	51, 234. 8	
							70, 282. 5	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	災害時の情報伝達手段の確保のため防災行政用無線の整備，災害時に即対応できるように防災倉庫・災害用井戸・防災資機材の整備及び維持管理，並びに防災対策・災害対応に係る一般事務等を行うことで災害予防体制・災害応急対策の充実が図れます。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
目的 妥当 性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している	防災施設及び防災資機材等は，災害時に即時対応できるように常に維持管理が必要です。備蓄品(非常用食糧・災害用トイレ・毛布)は，まだ整備計画数量に達していないので今後も整備に努めます。					
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
目的 妥当 性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある	この事業は，八千代市地域防災計画に基づいて実施しており，市民の生命・財産を守るという市の重大な責務で行われているため，市が関係機関及び団体等の協力により実施すべきものです。					
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
目的 妥当 性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい	八千代市地域防災計画に基づき災害時に即対応できるよう防災施設・備蓄品等の整備及び維持管理，並びに防災対策・防災対応に係る一般事務等を実施する事業で，備蓄品等も整備中であり，対象・意図は当初と変わっていません。					
			☐ 見直す必要がある						
			☐ 評価対象外事項						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある						
			☒ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	有効性・ 効率性	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等	この事業は，八千代市地域防災計画に基づき行っている事業であるが，防災資機材等備蓄品の整備等については，災害時協力協定による物資の供給等により，効率性を向上させることが可能である。				
				☐ 臨時的任用職員等の活用					
				☒ I T 化等の業務プロセスの見直し					
				☐ 受益者負担の見直し					
				☐ 類似事業との統合・役割見直し					
				☐ 上記以外の方法					
有効性・ 効率性	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある	災害時協力協定の充実及び強化					
			☐ ない						

コード	3056	事務事業名称	災害対策施設整備等事業				所属名	総合防災課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			この事業は、八千代市地域防災計画に基づき防災施設及び備蓄品の整備等を行い、災害に対する総合的な対策を行う事業であるが、災害時協力協定による物資の供給等により、改革・改善して継続する。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			災害時協力協定による物資の供給等により、改革・改善して継続することから、コストの削減が図られる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☒	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
安全な避難場所の整備が求められている。（第8回八千代市市民意識調査より） 情報伝達体制の充実・強化が求められている。（第8回八千代市市民意識調査より）									

所属長コメント	市民の生命，身体及び財産を災害から保護するため，災害時協力協定による物資の供給等，関係機関等との調整を行い，鋭意進めていくこととする。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			災害時協力協定については，課題解決に務め，順次推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									